

磐田市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

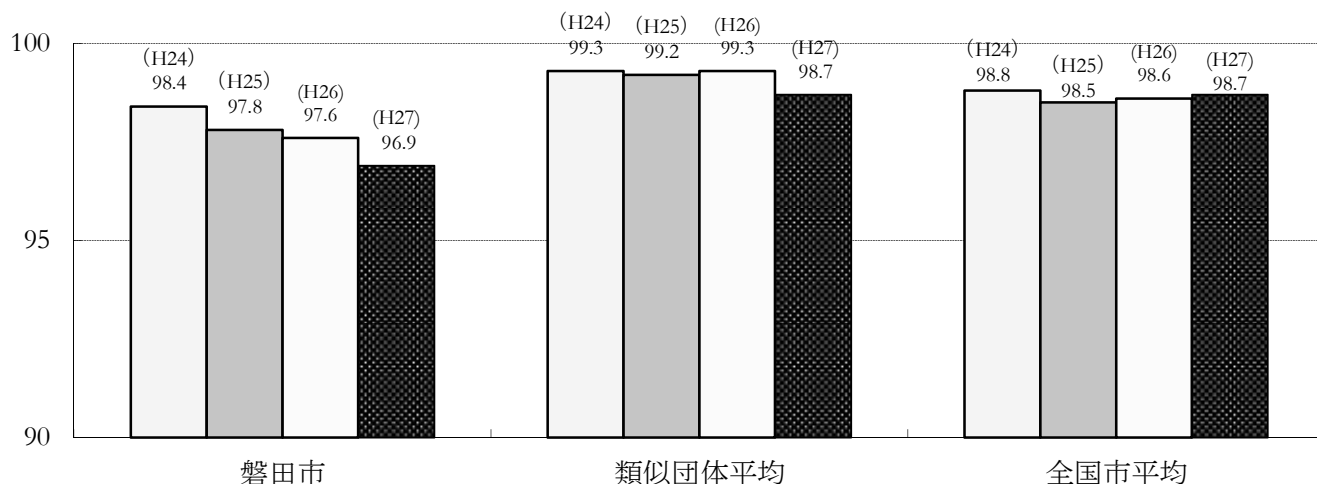
| 区分 | 住民基本台帳人口 (H27.1.1現在) 外国人登録者を含む | 歳出額 A | 実質収支 | 人件費 B | 人件費率 B/A | (参考) 25年度人件費率 |
|------|--------------------------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------------|
| 26年度 | 170,612人 | 60,019,766千円 | 2,038,818千円 | 10,556,668千円 | 17.6% | 18.6% |

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

| 区分 | 職員数 A | 給与 | | | 費計 B | 一人当たり給与費 B/A |
|------|----------|-------------|-----------|-------------|-------------|-----------------|
| | | 給料 | 職員手当 | 期末・勤勉手当 | | |
| 26年度 | 1,111人 | 5,064,917千円 | 809,439千円 | 1,621,828千円 | 7,496,184千円 | 6,747千円 |

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
2 職員数は、平成26年4月1日現在の人数である。

(3) ラスパイレス指数の状況(各年4月1日現在)



(注)

- ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(1)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
- 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
- 平成24年度及び平成25年度は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の数値である。

(4) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

① 給料表の見直し

[**実施** 未実施]

(給料表の改定実施時期) 平成27年4月1日

(内容) 一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、平均2.3%引下げ。ただし、若年層については、人材確保の影響を考慮し、初任給に係る号級を中心に引下げを行わず、高齢層については、世代間の給与配分の適正化のため、最大8.7%の引下げを実施。なお、激変緩和のため、3年間(平成30年3月31日まで)の経過措置(現給保障)を実施。

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

② 地域手当の見直し

実施内容(国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合)

(支給割合) 国基準6%に対し、磐田市においても6%を支給。

(実施時期) 平成27年4月1日より実施。段階的に支給割合を上げることとし、平成27年4月1日時点は

(参考)

| | 平成26年度の支給割合 | 平成27年度の支給割合 | | 見直し後の支給割合 (H28.4.1) |
|------------|-------------|-------------|-------|------------------------|
| | | 4月1日時点 | 遡及改定後 | |
| 国基準による支給割合 | 3% | 4% | 5% | 6% |
| 磐田市の支給割合 | 3% | 4% | 5% | 6% |

③ その他の見直し内容

管理職員特別勤務手当及び単身赴任手当について、国と同様に見直しを実施。(平成27年4月1日実施)

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況(平成27年4月1日現在)

①一般行政職

| 区分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|-------|-----------|-----------|--------------------|
| 磐田市 | 44.8歳 | 342,500 円 | 368,115 円 | 382,066 円 |
| 静岡県 | 42.6歳 | 340,000 円 | 437,502 円 | 374,148 円 |
| 国 | 43.5歳 | 334,283 円 | | 408,996 円 |
| 類似団体 | 43.3歳 | 335,260 円 | 443,979 円 | 386,032 円 |

②技能労務職

| 区分 | 公務員 | | | | |
|--------|-------|---------|-----------|-----------|------------------|
| | 平均年齢 | 職員数 | 平均給料月額 | 平均給与月額(A) | 平均給与月額 (国ベース) |
| 磐田市 | 49.1歳 | 79 人 | 291,200 円 | 311,114 円 | 314,223 円 |
| 清掃職員 | 51.4歳 | 14 人 | 304,800 円 | 329,606 円 | 331,534 円 |
| 自動車運転手 | 46.3歳 | 30 人 | 292,100 円 | 317,616 円 | 321,436 円 |
| 調理士 | 50.6歳 | 30 人 | 289,300 円 | 302,952 円 | 305,602 円 |
| 用務員 | 51.1歳 | 5 人 | 258,900 円 | 269,298 円 | 274,198 円 |
| 国 | 50.1歳 | 3,119 人 | 287,992 円 | - | 326,611 円 |

| 区分 | 民間 | | | 参考 |
|--------|-------------|-------|-----------|------|
| | 対応する民間の類似職種 | 平均年齢 | 平均給与月額(B) | A/B |
| 磐田市 | - | - | - | - |
| 清掃職員 | 廃棄物処理業従業員 | 44.7歳 | 288,100 円 | 1.14 |
| 自動車運転手 | 自動車運転手 | 60.9歳 | 226,800 円 | 1.40 |
| 調理士 | 調理士 | 43.7歳 | 257,900 円 | 1.17 |
| 用務員 | 用務員 | 54.3歳 | 199,300 円 | 1.35 |

| 区分 | 年収ベース(試算値)の比較 | | |
|--------|---------------|-------------|------|
| | 公務員(C) | 民間(D) | C/D |
| 磐田市 | - | - | - |
| 清掃職員 | 5,682,831 円 | 3,939,100 円 | 1.44 |
| 自動車運転手 | 5,821,324 円 | 3,184,300 円 | 1.83 |
| 調理士 | 5,058,033 円 | 3,414,700 円 | 1.48 |
| 用務員 | 4,503,725 円 | 2,747,000 円 | 1.64 |

※ 民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用しています。(平成23年～平成25年の3ヵ年平均)

※ 本市技能労務職員の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致するものではありません。

※ 年収ベースの『公務員(C)』及び『民間(D)』のデータは、それぞれ平均給与月額を12倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与の額を加えた試算値です。

③消防職

| 区 分 | 平均年齢 | 平均給料月額 | 平均給与月額 | 平均給与月額 (国比較ベース) |
|------|-------|-----------|-----------|--------------------|
| 磐田市 | 38.7歳 | 298,000 円 | 326,080 円 | 337,373 円 |
| 類似団体 | 39.8歳 | 309,117 円 | 402,289 円 | 350,552 円 |

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成27年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、調整手当、住居手当、時間外勤務手当などの諸手当の額を合計したものである。(国ベース)の欄には、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものである。

(2) 職員の初任給の状況(平成27年4月1日現在)

| 区 分 | | 磐 田 市 | 静 岡 県 | 国 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 180,800 円 | 180,158 円 | 172,200 円 |
| | 高 校 卒 | 146,500 円 | 145,598 円 | 140,100 円 |
| 技能労務職 | 高 校 卒 | 149,000 円 | 142,978 円 | — |
| | 中 学 卒 | 139,500 円 | 130,181 円 | — |
| 消 防 職 | 大 学 卒 | 180,800 円 | — | — |
| | 高 校 卒 | 146,500 円 | — | — |

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況(平成27年4月1日現在)

| 区 分 | | 経験年数10年 | 経験年数20年 | 経験年数25年 | 経験年数30年 |
|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 一般行政職 | 大 学 卒 | 249,800 円 | 339,578 円 | 384,695 円 | 422,363 円 |
| | 高 校 卒 | — 円 | 287,500 円 | 334,100 円 | 379,075 円 |
| 技能労務職 | 大 学 卒 | — 円 | 273,200 円 | — 円 | — 円 |
| | 高 校 卒 | 228,300 円 | 265,750 円 | 292,467 円 | 301,167 円 |
| 消 防 職 | 大 学 卒 | 256,400 円 | 331,550 円 | 387,000 円 | 395,567 円 |
| | 高 校 卒 | 219,200 円 | 306,550 円 | 366,300 円 | 384,567 円 |

- (注)それぞれの経験年数に該当する職員の平均額になります。該当する職員がない場合は「-」となっています。

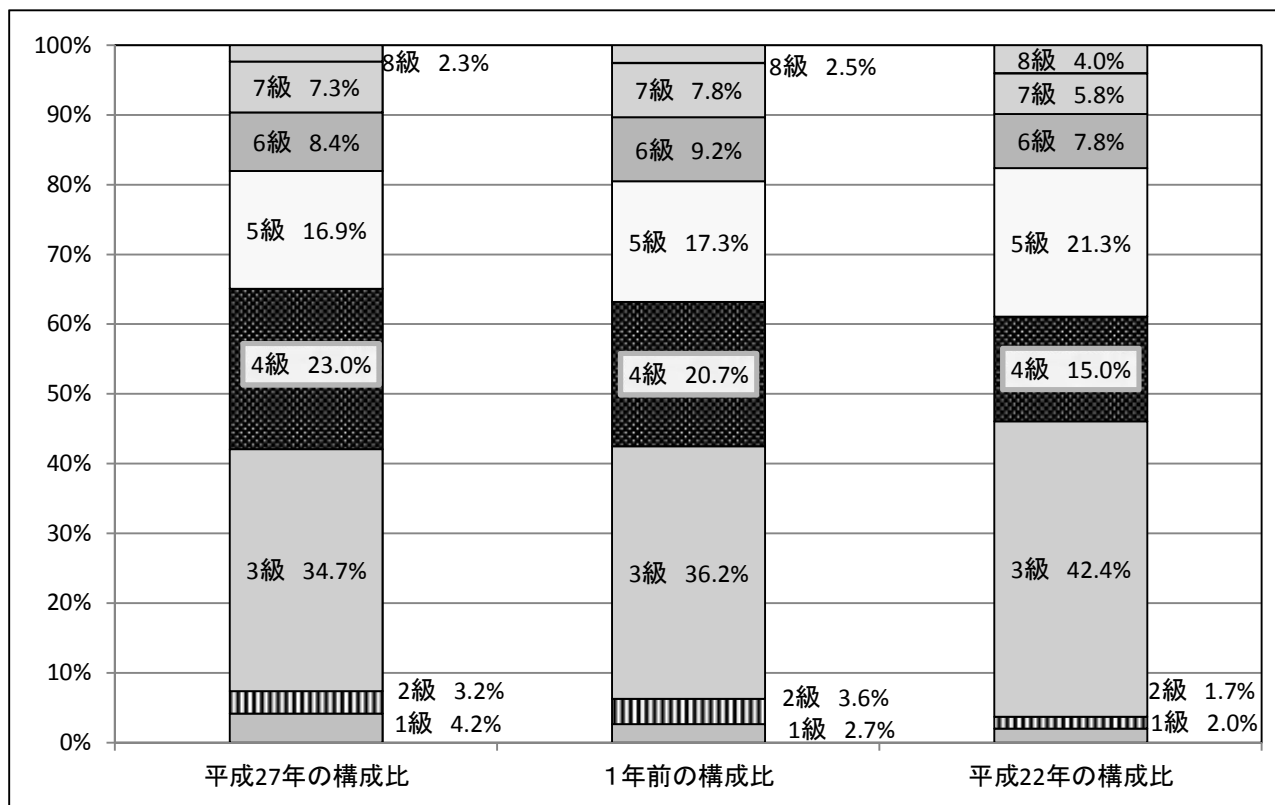
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況(平成27年4月1日現在)

| 区分 | 標準的な職務内容 | 職員数 | 構成比 | 1号給の給料月額 | 最高号給の給料月額 |
|----|------------------------|------|--------|----------|-----------|
| 1級 | 主事補、技師補、主事、技師 | 24人 | 4.2% | 137,600 | 244,900 |
| 2級 | 相当高度の知識経験を必要とする主事・技師 | 18人 | 3.2% | 187,700 | 301,900 |
| 3級 | 副主任、高度の知識経験を必要とする主事・技師 | 199人 | 34.7% | 223,900 | 347,700 |
| 4級 | 主任 | 132人 | 23.0% | 258,300 | 378,700 |
| 5級 | 係長、主査 | 97人 | 16.9% | 285,000 | 390,700 |
| 6級 | 課長補佐、主幹 | 48人 | 8.4% | 315,800 | 407,900 |
| 7級 | 課長、参事、技監、支所長 | 42人 | 7.3% | 360,100 | 442,600 |
| 8級 | 部長、参与、理事 | 13人 | 2.3% | 405,800 | 478,900 |
| 合計 | | 573人 | 100.0% | | |

(注) 1 磐田市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

前年度の勤務成績を基に査定昇給を行っている。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

| 磐田市 | 静岡県 | 国 |
|--|--|--|
| 1人当たり平均支給額(26年度) 1,617 千円 | 1,519 千円 | — |
| (平成26年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.50 月分 (0.70) 月分 | (平成25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65) 月分 | (平成25年度支給割合) 期末手当 2.60 月分 (1.45) 月分 勤勉手当 1.35 月分 (0.65) 月分 |
| (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 20～25% | (加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 5～21% |

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

(2) 退職手当(平成27年4月1日現在)

| 磐田市 | 国 |
|---|---|
| (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445 月分 25.55625 月分 勤続25年 29.145 月分 34.5825 月分 勤続35年 41.325 月分 49.59 月分 最高限度額 49.59 月分 49.59 月分 (その他の加算措置) 定年前早期退職特例措置 2～20%加算 | (支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 20.445 月分 25.55625 月分 勤続25年 29.145 月分 34.5825 月分 勤続35年 41.325 月分 49.59 月分 最高限度額 49.59 月分 49.59 月分 (その他の加算措置) 定年前早期退職特例措置 2～45%加算 |
| 1人当たり平均支給額 自己都合 勸奨・定年 (平成26年度決算) 3,813 千円 22,224 千円 | |

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額です。

(3) 地域手当(平成27年4月1日現在)

| | | |
|-------------------------------|-----|--------------------|
| 支給実績(平成26年度決算) | | 144,041 千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算) | | 122,380 円 |
| 支給対象地域 | 支給率 | 支給対象職員数 国の制度(支給率) |
| 全地域 | 4 % | 1,111 人 4 % |
| 地域手当補正後ラスパイレス指数 (ラスパイレス指数) | | 97.6 % (97.6) % |

(注) 地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率を用いて補正したラスパイレス指数。(補正前のラスパイレス指数×(1+当該団体の地域手当支給率)/(1+国の指定基準に基づく地域手当支給率)により算出。)

(4) 特殊勤務手当(平成27年4月1日現在)

| 支給実績(平成26年度決算) | | 21,674 | 千円 | |
|---------------------------|-------------|---|---------------|------------------------------------|
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算) | | 102,234 | 円 | |
| 職員全体に占める手当支給職員の割合 | | 18.0 | % | |
| 手当の種類(手当数) | | 24 | | |
| 手当の名称 | 主な支給対象職員 | 主な支給対象業務 | 支給実績 H26決算 | 左記職員に対する支給単価 |
| 危険作業手当 | 右記業務に従事した職員 | 感染症等防疫収容作業に従事したとき | | 1件につき500円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 家畜伝染病防疫作業に従事したとき | | 1件につき500円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 野犬捕獲作業に従事したとき | 22 千円 | 1件につき500円 |
| 不快作業手当 | 右記業務に従事した職員 | 胞衣処理作業に従事したとき | | 1個につき30円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 行旅死亡人取扱作業に従事したとき | | 1件につき5,000円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 行旅病人取扱作業に従事したとき | | 1件につき1,000円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 浮浪者取扱作業に従事したとき | | 1件につき1,000円 |
| | 右記業務に従事した職員 | し尿処理作業に従事したとき | 18 千円 | 日額1,000円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 死亡獣畜作業に従事したとき | | 1件につき500円 |
| | 右記業務に従事した職員 | ごみ処理作業に従事したとき | 1,146 千円 | 日額750円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 犬猫死体取扱作業に従事したとき | 23 千円 | 1個につき500円 |
| | 右記業務に従事した職員 | そ族昆虫駆除作業に従事したとき | | 日額350円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 河川等汚泥処理作業に従事したとき | 336 千円 | 日額500円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 下水道管きよ内作業に従事したとき | | 日額250円 |
| 重勤務作業手当 | 右記業務に従事した職員 | アスファルト舗装作業に従事したとき | 292 千円 | 日額300円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 重機運転作業に従事したとき | 247 千円 | 日額250円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 高所深所作業に従事したとき | 6 千円 | 日額300円 |
| 非常災害業務手当 | 右記業務に従事した職員 | 災害応急作業に従事したとき | | 日額1,000円 |
| 市税等滞納処分作業手当 | 右記業務に従事した職員 | 市税等滞納処分作業に従事したとき | 623 千円 | 1件につき300円 |
| 消防業務手当 | 右記業務に従事した職員 | 機関員(消防車の運転手)が救急車・ポンプ車・はしご車・化学車・救助工作車を運転したとき | 866 千円 | 1勤務につき200円(大型車) 1勤務につき100円(普通車) |
| | 右記業務に従事した職員 | 消防士で災害事故等に出動したとき | 4,309 千円 | 1件につき200円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 救急救命士が救急業務に従事したとき | 1,769 千円 | 月額4,000円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 交替制勤務の消防士が、深夜において消防業務・救急業務に従事した場合 | 11,389 千円 | 1勤務につき650円 |
| | 右記業務に従事した職員 | 救助隊員が救助業務に従事したとき | 628 千円 | 月額1,500円 |

(5) 時間外勤務手当

| | | | |
|---------------------------|-------|----------|----|
| 支給実績(平成26年度決算) | | 236,455 | 千円 |
| | 市長部局 | 135,716 | 千円 |
| | 教育委員会 | 18,630 | 千円 |
| | 下水道 | 653 | 千円 |
| | 消防 | 81,456 | 千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成26年度決算) | | 185,892円 | |
| 支給実績(平成25年度決算) | | 226,904 | 千円 |
| | 市長部局 | 130,159 | 千円 |
| | 教育委員会 | 17,405 | 千円 |
| | 下水道 | 360 | 千円 |
| | 消防 | 78,980 | 千円 |
| 支給職員1人当たり平均支給年額(平成25年度決算) | | 153,937円 | |

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績(26年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)である。

(6) その他の手当(平成27年4月1日現在)

| 手当名 | 内容及び支給単価 | 国の制度との異同 | 国の制度と異なる内容 | 支給実績 (平成26年度決算) | 支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成26年度決算) |
|-------|---|----------|----------------------|--------------------|-----------------------------------|
| 扶養手当 | <ul style="list-style-type: none"> ●配偶者のある場合 <ul style="list-style-type: none"> 配偶者 月額13,000円 1人目 月額6,500円 [配偶者が扶養親族でない場合]月額6,500円 2人目以降 月額6,500円 ●配偶者のない場合 <ul style="list-style-type: none"> 1人目 月額11,000円 2人目以降 月額6,500円 ※満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子がいる場合の加算1人につき月額5,000円 | 同 | なし | 140,331 千円 | 247,935 円 |
| 住居手当 | <ul style="list-style-type: none"> ●月額12,000円を超える家賃を支払っている場合 支給限度額27,000円 | 同 | なし | 54,233 千円 | 290,014 円 |
| 通勤手当 | <ul style="list-style-type: none"> ●片道2km以上の通勤者 交通機関等利用者の最高支給限度額 55,000円 ●交通用具利用者 通勤距離により 月額5,800円～25,400円 | 異 | 交通用具利用者の距離区分、手当額等の相違 | 132,328 千円 | 128,599 円 |
| 管理職手当 | 定額支給 <ul style="list-style-type: none"> ●部長級 84,800円・71,300円 ●課長級 65,600円・53,800円 ●課長補佐級 41,900円・35,600円 ●園長 23,500円 | - | - | 104,298 千円 | 585,944 円 |

5 特別職の報酬等の状況(平成27年4月1日現在)

| 区 分 | | 給 料 月 額 等 | | | |
|-------|-------|--------------------|---------|--------------|---------------|
| | | (参考)類似団体における最高/最低額 | | | |
| 給料 | 市 長 | 960,000 | 円 | 1,069,000 | 円/ 960,000 円/ |
| | 副 市 長 | 780,000 | 円 | 874,000 | 円/ 780,000 円/ |
| | 教 育 長 | 710,000 | 円 | | 円/ 円/ |
| 報酬 | 議 長 | 520,000 | 円 | 572,000 | 円/ 520,000 円/ |
| | 副 議 長 | 470,000 | 円 | 529,000 | 円/ 470,000 円/ |
| | 議 員 | 430,000 | 円 | 479,000 | 円/ 430,000 円/ |
| 期末手当 | 市 長 | (27年度支給割合) | | | |
| | 副 市 長 | | | | |
| | 教 育 長 | 4.10 | 月分 | ※加算措置あり | |
| | 議 長 | (27年度支給割合) | | | |
| 副 議 長 | | | | | |
| 議 員 | 3.10 | 月分 | ※加算措置あり | | |
| 退職手当 | 市 長 | (算定方式) | | (支給時期) | |
| | 副 市 長 | 在職年方式【500/100(年)】 | | 退職した日から1ヶ月以内 | |
| | 教 育 長 | 在職年方式【300/100(年)】 | | 退職した日から1ヶ月以内 | |
| | | 在職年方式【220/100(年)】 | | 退職した日から1ヶ月以内 | |

*類似団体の欄については、公表があり次第掲載します。

6 職員数の状況

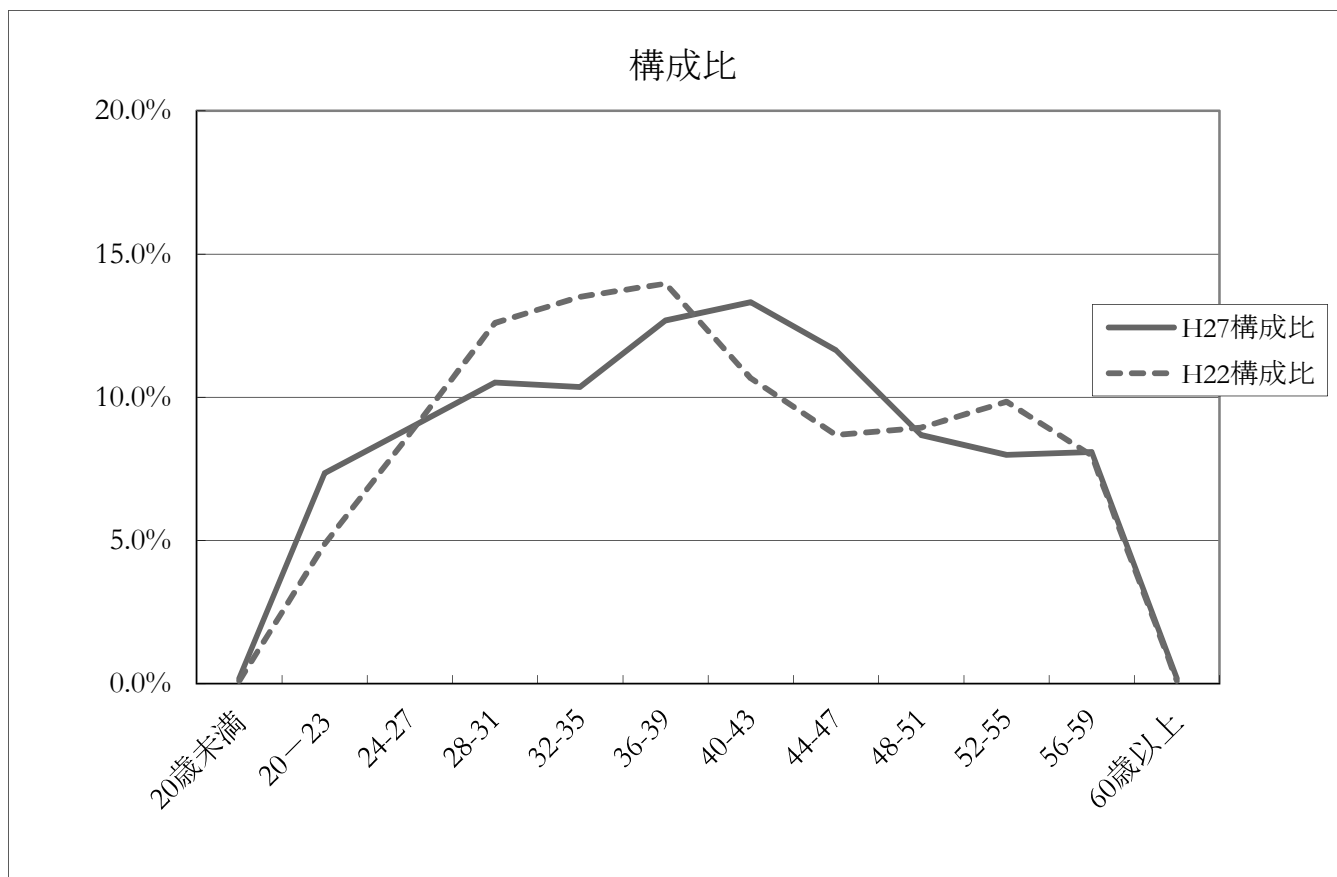
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

| 部 門 | | 区 分 | 職 員 数 | | 対前年 増減数 | 主な増減理由 |
|-----------|---------|------------------|------------------|------------|-----------------------------|---------------------------|
| | | | 平成26年 | 平成27年 | | |
| 普通会計部門 | 一般行政職部門 | 議会 | 8 | 8 | 0 | |
| | | 総務 | 211 | 233 | 22 | 業務増、事務・組織の統合による |
| | | 税務 | 60 | 60 | 0 | |
| | | 民生 | 195 | 148 | ▲ 47 | 事務の統廃合縮小による |
| | | 衛生 | 66 | 86 | 20 | 事務の統合による |
| | | 労働 | 0 | 0 | 0 | |
| | | 農林水産 | 26 | 26 | 0 | |
| | | 商工 | 27 | 26 | ▲ 1 | 事務の統廃合縮小による |
| | | 土木 | 98 | 93 | ▲ 5 | 事務の統廃合縮小による |
| | | 小 計 | 691 | 680 | ▲ 11 | 〈参考〉 人口1万あたりの職員数41.33人 |
| | 教育 | 220 | 209 | ▲ 11 | 事務の統廃合縮小による | |
| | 消防 | 200 | 202 | 2 | 業務増による | |
| | 小 計 | 1,111 | 1,091 | ▲ 20 | 〈参考〉 人口1万人あたりの職員数66.32人 | |
| 公営企業等会計部門 | 病院 | 821 | 845 | 24 | 業務増による | |
| | 水道 | 24 | 23 | ▲ 1 | 欠員不補充による | |
| | 下水道 | 21 | 21 | 0 | | |
| | その他 | 45 | 46 | 1 | 業務増による | |
| | 小 計 | 911 | 935 | 24 | | |
| 合 計 | | 2,022 [2,329] | 2,026 [2,329] | 4 [-] | 〈参考〉 人口1万人あたりの職員数123.15人 | |

※[]内は、条例定数の合計です。

(2) 年齢別職員構成の状況(平成27年4月1日現在)



| 区分 | 20歳未満 | 20歳～23歳 | 24歳～27歳 | 28歳～31歳 | 32歳～35歳 | 36歳～39歳 | 40歳～43歳 | 44歳～47歳 | 48歳～51歳 | 52歳～55歳 | 56歳～59歳 | 60歳以上 | 計 |
|-----|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--------|
| 職員数 | 4人 | 149人 | 181人 | 213人 | 210人 | 257人 | 270人 | 236人 | 176人 | 162人 | 164人 | 4人 | 2,026人 |

(3) 職員数の推移

(単位:人・%)

| 部門別 \ 年度 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 過去5年間の増減数(率) |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 一般行政 | 738 | 731 | 728 | 715 | 691 | 680 | ▲ 58 (▲7.9%) |
| 教育 | 261 | 252 | 234 | 224 | 220 | 209 | ▲ 52 (▲19.9%) |
| 消防 | 195 | 196 | 193 | 197 | 200 | 202 | 7 (3.6%) |
| 普通会計計 | 1,194 | 1,179 | 1,155 | 1,136 | 1,111 | 1,091 | ▲ 103 (▲8.6%) |
| 公営企業等会計計 | 775 | 797 | 835 | 872 | 911 | 935 | 160 (20.6%) |
| 総合計 | 1,969 | 1,976 | 1,990 | 2,008 | 2,022 | 2,026 | 57 (2.9%) |

(注)1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。